



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社サンドラッグ 上場取引所 東
 コード番号 9989 URL <https://www.sundrug.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 貞方 宏司
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 加藤 好伸 (TEL) 042 (369) 6211
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	603,594	6.6	34,819	4.8	34,351	1.7	23,830	4.6
2024年3月期第3四半期	565,972	8.9	33,216	12.6	33,777	12.9	22,781	11.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 23,863百万円(4.6%) 2024年3月期第3四半期 22,821百万円(11.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第3四半期	円 銭 203.75	円 銭 —
2024年3月期第3四半期	194.82	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第3四半期	百万円 434,032	百万円 262,746	% 60.5
2024年3月期	420,208	253,090	60.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 262,746百万円 2024年3月期 253,090百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 57.00	円 銭 —	円 銭 57.00	円 銭 114.00
2025年3月期	—	65.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	65.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	803,000	6.8	46,200	12.7	45,300	8.6	30,450	4.5	260.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	119,331,184株	2024年3月期	119,331,184株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2025年3月期3Q	2,363,772株	2024年3月期	2,379,523株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年3月期3Q	116,961,169株	2024年3月期3Q	116,939,731株
------------	--------------	------------	--------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日~2024年12月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や過去最多を更新した訪日外国人等により、経済・社会活動の回復基調が見られました。一方、継続的な物価の上昇、海外景気の下振れやアメリカの政策動向等、懸念はあるものの緩やかな復調が期待されます。

当業界におきましては、同業他社との出店競争や大手同士の業界再編、他業態との競争等、経営環境は一層厳しさを増しております。また、商品動向につきましては、新型コロナウイルス感染症対策関連商品等の反動減が風邪症候群の影響により一時的に緩和され、繁華街のインバウンド需要を中心に、医薬品・化粧品等の回復が継続しております。

このような状況のもと当社グループは、引き続き「安心・信頼・便利の提供」をキーワードに、専門性を一層高め、お客様に必要な期待される質の高いサービスレベルの向上を達成すべく、駅前店を中心に、医薬品・健康食品・化粧品等のインバウンド需要の取り込みを強化いたしました。経費面におきましては、生産性の向上を図るべく引き続きデジタル化(省人化)等に取り組むと共に、太陽光パネルの設置・ノンフロン冷蔵・冷凍仕器の導入や食品廃棄物リサイクル化等、より一層の環境経営推進に取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の当社グループ全体の出店などの状況は43店舗の新規出店と8店舗を閉店いたしました。また、84店舗で改装を行い活性化を図りました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の当社グループ全体の店舗数は、ドラッグストア事業1,101店舗(直営店843店舗、㈱星光堂薬局82店舗、㈱サンドラッグプラス75店舗、㈱大屋63店舗、フランチャイズ店38店舗)、ディスカウントストア事業407店舗(ダイレックス㈱407店舗)の合計1,508店舗となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高6,035億94百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益348億19百万円(同4.8%増)、経常利益343億51百万円(同1.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益238億30百万円(同4.6%増)となり、増収増益となりました。

セグメント業績等の概要は次のとおりであります。

<ドラッグストア事業>

中間期まで海外景気の影響を受けた、サマー化粧品を中心とした卸売りの減少影響が収束したことに加え、冬物季節品が好調に推移したこともあり、売上高が前年同期を上回りました。また、販売管理費は生産性向上を目的とした電子棚札の導入拡大等により、一時的に管理費が増加しておりますが、計画の範囲内でコントロールしております。

以上の結果、ドラッグストア事業の売上高は3,908億47百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益は211億66百万円(同0.2%増)となりました。

<ディスカウントストア事業>

ディスカウントストア事業は、コロナ禍でのペットブームの特需が一巡したものの、冬物季節品(スキンケア)が堅調であったことに加え、米を中心とした食料品の市場価格の上昇が継続し、食品部門が好調に推移しました。

以上の結果、ディスカウントストア事業の売上高は2,563億16百万円(前年同期比8.6%増)、営業利益は136億53百万円(同12.8%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ138億24百万円増加し、4,340億32百万円となりました。主な要因は新規出店・改装による商品・有形固定資産の増加等であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ41億68百万円増加し、1,712億86百万円となりました。主な要因は、新規出店・改装による買掛金の増加等であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ96億56百万円増加し、2,627億46百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月15日に公表しました通期連結業績予想に変更はありません。

(注) 業績の見通しにつきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	69,698	60,126
売掛金	26,740	30,360
商品	90,970	99,622
貯蔵品	322	296
その他	20,510	22,620
流動資産合計	208,243	213,025
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	85,020	89,126
その他(純額)	35,515	41,604
有形固定資産合計	120,536	130,730
無形固定資産		
のれん	1,556	1,469
その他	7,587	7,186
無形固定資産合計	9,143	8,656
投資その他の資産		
投資有価証券	35,808	34,665
敷金及び保証金	27,828	28,091
その他	18,746	18,868
貸倒引当金	△98	△4
投資その他の資産合計	82,284	81,620
固定資産合計	211,964	221,006
資産合計	420,208	434,032

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	77,371	86,552
短期借入金	35,000	-
1年内返済予定の長期借入金	-	3,500
未払法人税等	7,547	4,159
役員賞与引当金	123	94
その他	35,424	35,013
流動負債合計	155,466	129,320
固定負債		
長期借入金	-	30,041
役員退職慰労引当金	315	279
退職給付に係る負債	2,158	2,299
資産除去債務	6,644	6,850
その他	2,533	2,495
固定負債合計	11,651	41,965
負債合計	167,118	171,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,931	3,931
資本剰余金	7,496	7,533
利益剰余金	247,272	256,834
自己株式	△3,894	△3,868
株主資本合計	254,806	264,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139	160
土地再評価差額金	△1,805	△1,805
退職給付に係る調整累計額	△50	△38
その他の包括利益累計額合計	△1,716	△1,683
純資産合計	253,090	262,746
負債純資産合計	420,208	434,032

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	565,972	603,594
売上原価	423,414	450,109
売上総利益	142,557	153,484
販売費及び一般管理費	109,341	118,664
営業利益	33,216	34,819
営業外収益		
受取利息	91	93
受取配当金	8	9
受取保証料	-	245
固定資産受贈益	245	183
その他	253	287
営業外収益合計	598	819
営業外費用		
支払利息	22	103
持分法による投資損失	-	1,179
その他	15	5
営業外費用合計	37	1,288
経常利益	33,777	34,351
特別利益		
固定資産売却益	0	-
違約金収入	133	0
国庫補助金	20	216
その他	27	60
特別利益合計	182	276
特別損失		
固定資産売却損	-	6
減損損失	327	257
固定資産除却損	86	109
固定資産圧縮損	2	215
災害による損失	161	8
その他	52	34
特別損失合計	630	631
税金等調整前四半期純利益	33,329	33,996
法人税等	10,547	10,165
四半期純利益	22,781	23,830
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,781	23,830

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	22,781	23,830
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	25
退職給付に係る調整額	12	11
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△3
その他の包括利益合計	39	32
四半期包括利益	22,821	23,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,821	23,863
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ドラッグストア 事業	ディスカウント ストア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	330,025	235,946	565,972	—	565,972
セグメント間の内部売上高 又は振替高	40,252	8	40,260	△40,260	—
計	370,278	235,955	606,233	△40,260	565,972
セグメント利益	21,115	12,101	33,216	—	33,216

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、全額セグメント間取引消去によるものであります。
 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益は、重要性が乏しいため、区分しておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ドラッグストア 事業	ディスカウント ストア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	347,287	256,306	603,594	—	603,594
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43,560	10	43,570	△43,570	—
計	390,847	256,316	647,164	△43,570	603,594
セグメント利益	21,166	13,653	34,819	—	34,819

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、全額セグメント間取引消去によるものであります。
 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益は、重要性が乏しいため、区分しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	10,802百万円	12,568百万円
のれんの償却額	86百万円	86百万円